

2022 年度

松本大学松商短期大学部 卒業生アンケート
(2 年目)

調査結果

2022 年 12 月 20 日

松本大学松商短期大学部 内部質保証室

【調査の概要】

対象 183 人（2020 年度卒業生のうち、大学側で住所把握ができた者）

調査方法：WEB 回答

調査期間：2022 年 8 月 4 日～2022 年 9 月 11 日

回答数：17 人

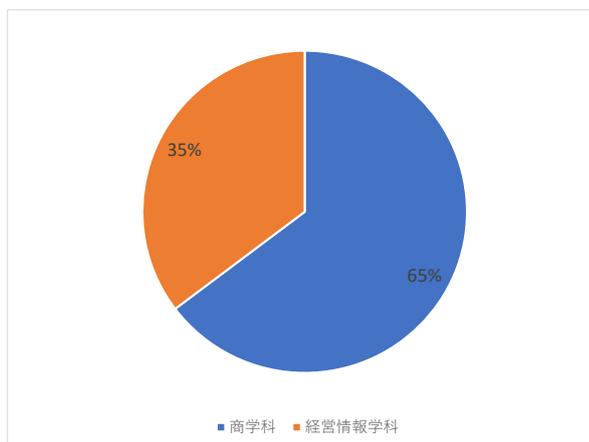
回収率：9.3%

2022年度 松本大学松商短期大学部 卒業生アンケート（2年目）

I. 基本プロフィール

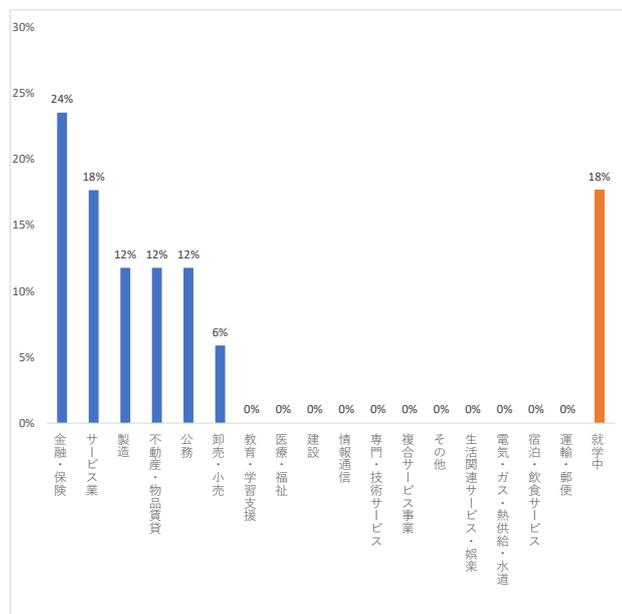
1. 卒業した学部学科を教えてください。

	人数	%
商学科	11	65%
経営情報学科	6	35%
合計	17	100%



2. 卒業後の進路（卒業時点）（業種）を教えてください。

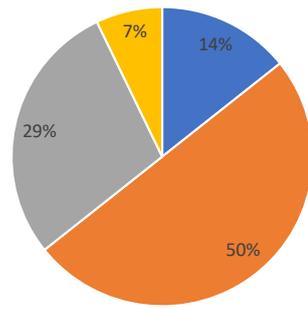
業種	人数	%
金融・保険	4	24%
サービス業	3	18%
製造	2	12%
不動産・物品賃貸	2	12%
公務	2	12%
卸売・小売	1	6%
教育・学習支援	0	0%
医療・福祉	0	0%
建設	0	0%
情報通信	0	0%
専門・技術サービス	0	0%
複合サービス事業	0	0%
その他	0	0%
生活関連サービス・娯楽	0	0%
電気・ガス・熱供給・水道	0	0%
宿泊・飲食サービス	0	0%
運輸・郵便	0	0%
就学中	3	18%
合計	17	100%



II. 就労状況等について

3. 卒業後（入社時点）の仕事に対する満足度を教えてください。

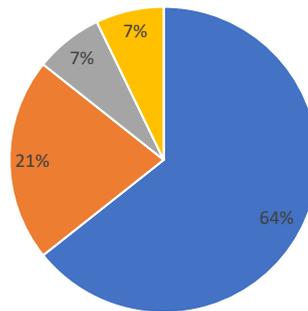
	人数	%
とても満足している	2	14%
まあまあ満足している	7	50%
あまり満足していない	4	29%
まったく満足していない	1	7%
合計	14	100%



■ とても満足している ■ まあまあ満足している
■ あまり満足していない ■ まったく満足していない

4. 現在の勤労の状況を教えてください。

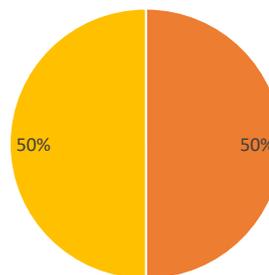
	人数	%
勤務を継続中（今後も継続予定）	9	64%
勤務を継続中（転職を検討中）	3	21%
転職した（別の会社で勤務中）	1	7%
退職した（休職中・無職）	1	7%
合計	14	100%



■ 勤務を継続中（今後も継続予定） ■ 勤務を継続中（転職を検討中）
■ 転職した（別の会社で勤務中） ■ 退職した（休職中・無職）

5. （転職・退職したと回答された方のみ）退職時期を教えてください。

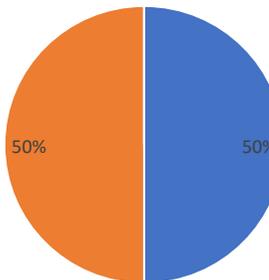
	人数	%
就業から1か月以内	0	0%
就業から3か月以内	1	50%
就業から1年以内	0	0%
就業から1年～2年以内	1	50%
合計	2	100%



■ 就業から1か月以内 ■ 就業から3か月以内
■ 就業から1年以内 ■ 就業から1年～2年以内

6. （転職・退職した方のみ）主な退職理由を教えてください。

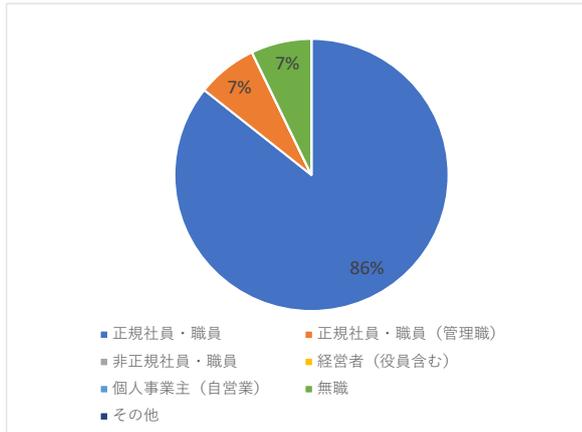
	人数	%
人間関係	1	50%
労働条件	1	50%
健康上の理由	0	0%
その他	0	0%
合計	2	100%



■ 人間関係 ■ 労働条件 ■ 健康上の理由 ■ その他

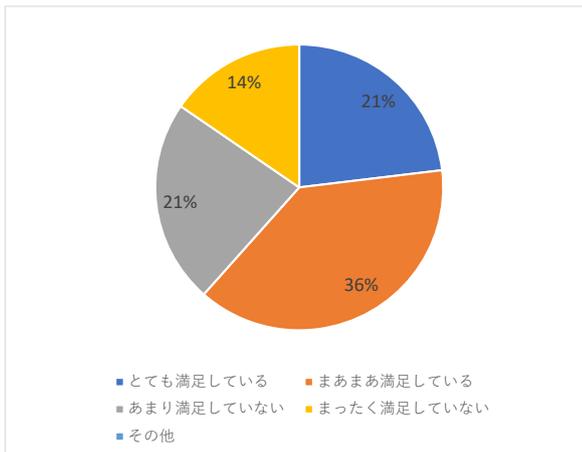
7. 現在の就業形態を教えてください。

	人数	%
正規社員・職員	12	86%
正規社員・職員（管理職）	1	7%
非正規社員・職員	0	0%
経営者（役員含む）	0	0%
個人事業主（自営業）	0	0%
無職	1	7%
その他	0	0%
合計	14	100%



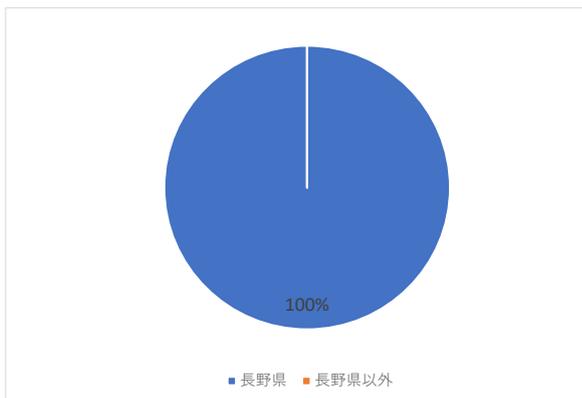
8. 現在の仕事に対する満足度を教えてください。

	人数	%
とても満足している	3	21%
まあまあ満足している	5	36%
あまり満足していない	3	21%
まったく満足していない	2	14%
その他	0	0%
無回答	1	7%
合計	14	100%



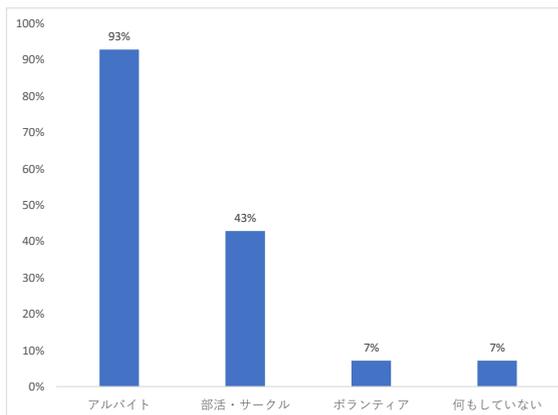
9. 現在の居住地域を教えてください。

	人数	%
長野県	14	100%
長野県以外	0	0%
合計	14	100%



10. 在学中の課外活動を教えてください（行っていたものすべて選択）。

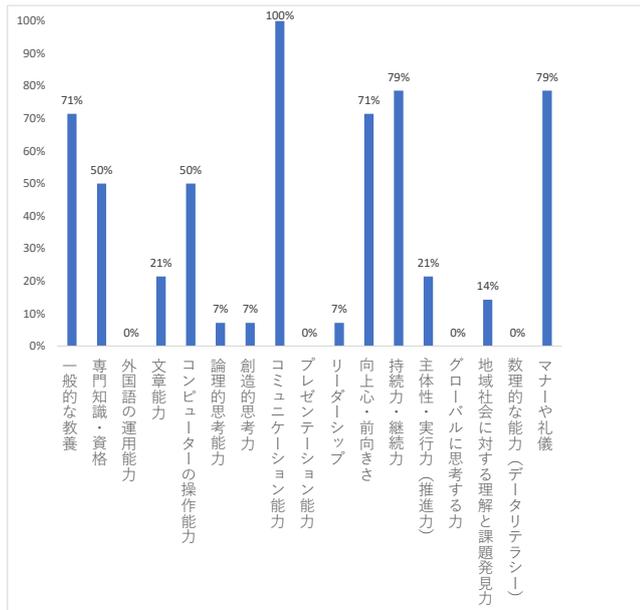
	人数	%
アルバイト	13	93%
部活・サークル	6	43%
ボランティア	1	7%
何もしていない	1	7%
合計	21	
回答者数	14	
無回答者数	0	
	14	



III. 求められている資質等について

11. 社会（職場）で必要とされていると感じる能力・態度を選んでください（複数回答可）

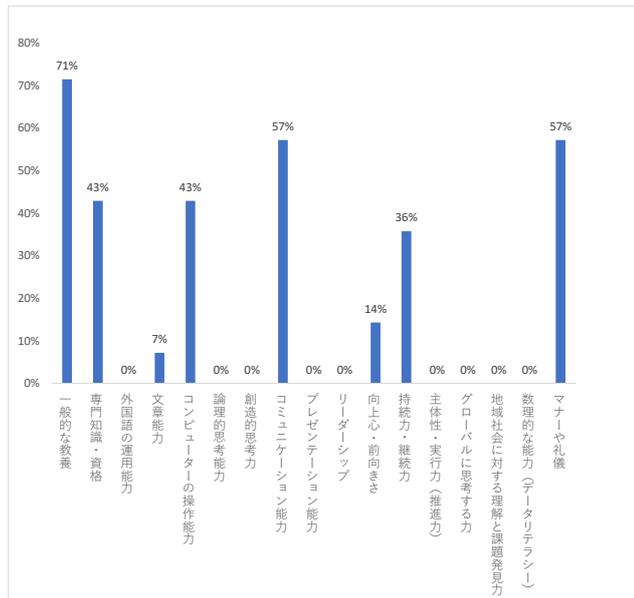
	人数	%
一般的な教養	10	71%
専門知識・資格	7	50%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	3	21%
コンピューターの操作能力	7	50%
論理的思考能力	1	7%
創造的思考力	1	7%
コミュニケーション能力	14	100%
プレゼンテーション能力	0	0%
リーダーシップ	1	7%
向上心・前向きさ	10	71%
持続力・継続力	11	79%
主体性・実行力（推進力）	3	21%
グローバルに思考する力	0	0%
地域社会に対する理解と課題発見力	2	14%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	11	79%
合計	81	579%



回答者数 14
無回答者数 0
14

12. 自分が修得していると感じる能力を選んでください（複数回答可）。

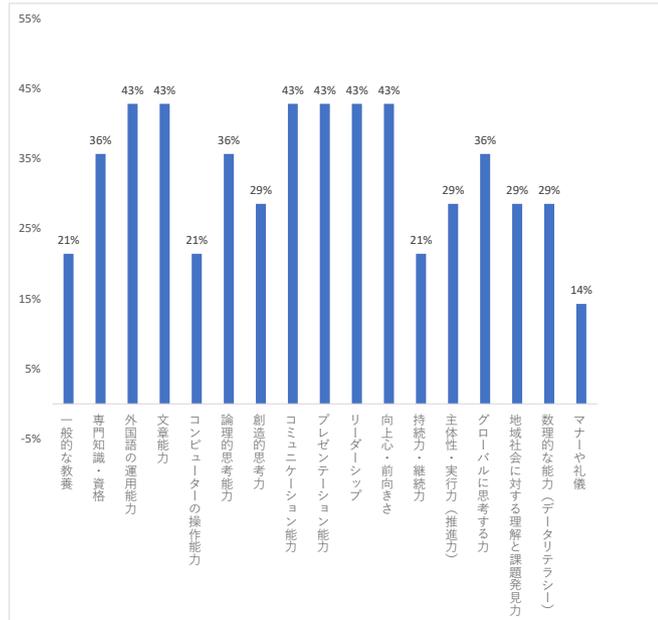
	人数	%
一般的な教養	10	71%
専門知識・資格	6	43%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	1	7%
コンピューターの操作能力	6	43%
論理的思考能力	0	0%
創造的思考力	0	0%
コミュニケーション能力	8	57%
プレゼンテーション能力	0	0%
リーダーシップ	0	0%
向上心・前向きさ	2	14%
持続力・継続力	5	36%
主体性・実行力（推進力）	0	0%
グローバルに思考する力	0	0%
地域社会に対する理解と課題発見力	0	0%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	8	57%
合計	46	329%



回答者数 14
無回答者数 0
14

13.自分が不足していると感じる能力・態度を選んでください（複数回答可）。

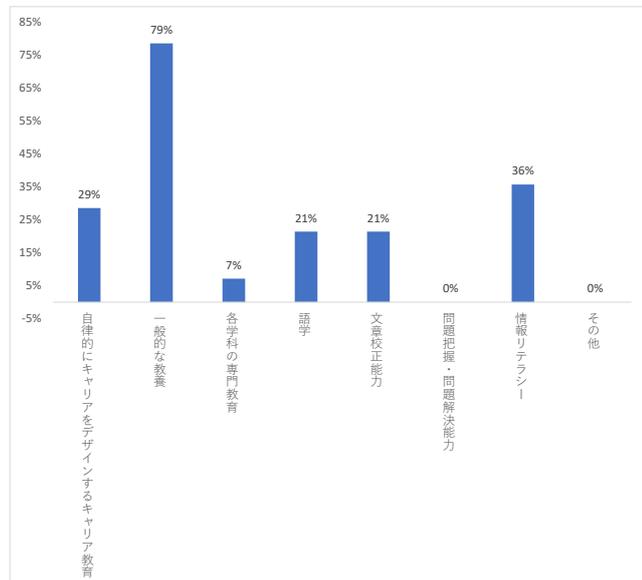
	人数	%
一般的な教養	3	21%
専門知識・資格	5	36%
外国語の運用能力	6	43%
文章能力	6	43%
コンピューターの操作能力	3	21%
論理的思考能力	5	36%
創造的思考力	4	29%
コミュニケーション能力	6	43%
プレゼンテーション能力	6	43%
リーダーシップ	6	43%
向上心・前向きさ	6	43%
持続力・継続力	3	21%
主体性・実行力（推進力）	4	29%
グローバルに思考する力	5	36%
地域社会に対する理解と課題発見力	4	29%
数理的な能力（データリテラシー）	4	29%
マナーや礼儀	2	14%
合計	78	557%



回答者数 14
無回答者数 0
14

14. 卒業後の状況を踏まえて、本学教育で特に力を注ぐとよいと思う教育分野は何ですか？（複数回答可）

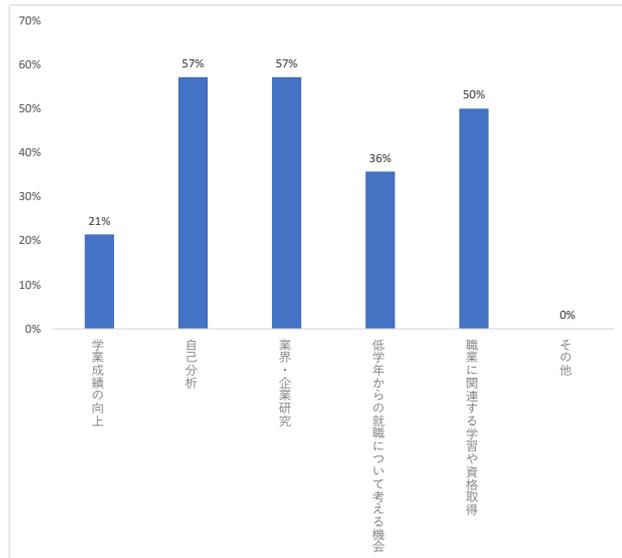
	人数	%
自律的にキャリアをデザインするキャリア教育	4	29%
一般的な教養	11	79%
各学科の専門教育	1	7%
語学	3	21%
文章校正能力	3	21%
問題把握・問題解決能力	0	0%
情報リテラシー	5	36%
その他	0	0%
合計	27	193%



回答者数 14
無回答者数 0
14

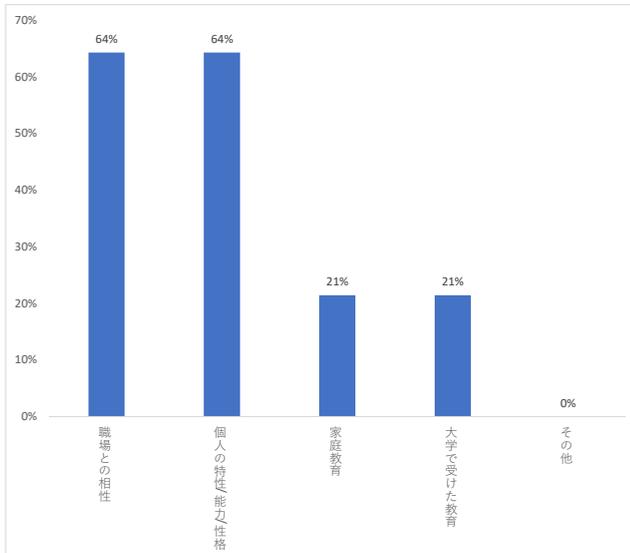
15. 大学時代に、特に必要だと思う就職に向けた準備は何ですか？（複数回答可）

	人数	%
学業成績の向上	3	21%
自己分析	8	57%
業界・企業研究	8	57%
低学年からの就職について考える機会	5	36%
職業に関連する学習や資格取得	7	50%
その他	0	0%
合計	31	221%
回答者数	14	
無回答者数	0	
	14	



16. ご自身が現在の職場で活躍できている（またはできていない）理由として、どんなものが挙げられますか？（複数回答可）

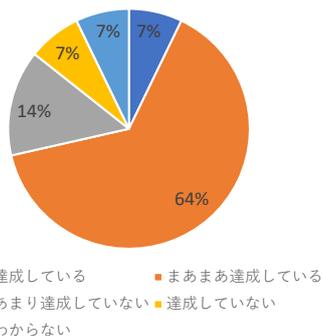
	人数	%
職場との相性	9	64%
個人の特性/能力/性格	9	64%
家庭教育	3	21%
大学で受けた教育	3	21%
その他	0	0%
合計	24	171%
回答者数	14	
無回答者数	0	
	14	



IV. 本学の理念とDPについて

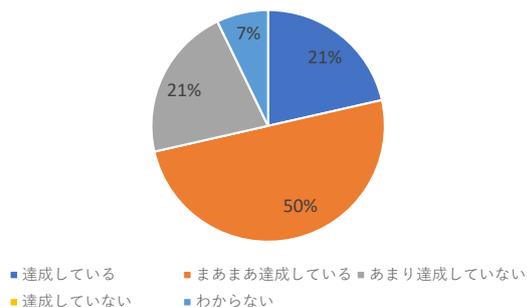
17. 本学の使命・目的は「地域社会に貢献できる人材を育成」することです。ご自身の現在の状況から、本学はこれをどの程度達成していると思われますか？

	人数	%
達成している	1	7%
まあまあ達成している	9	64%
あまり達成していない	2	14%
達成していない	1	7%
わからない	1	7%
合計	14	100%



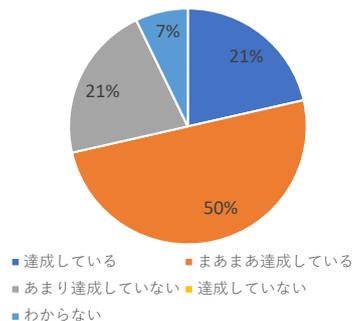
18. ご自身の現在の状況から、ご自身はディプロマ・ポリシー①「基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる」をどの程度達成していると思われますか？

	人数	%
達成している	3	21%
まあまあ達成している	7	50%
あまり達成していない	3	21%
達成していない	0	0%
わからない	1	7%
合計	14	100%



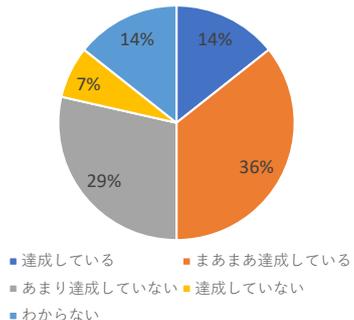
19. ご自身の現在の状況から、ご自身はディプロマ・ポリシー②「身に付けた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる」をどの程度達成していると思われますか？

	人数	%
達成している	3	21%
まあまあ達成している	7	50%
あまり達成していない	3	21%
達成していない	0	0%
わからない	1	7%
合計	14	100%



20. ご自身の現在の状況から、ご自身はディプロマ・ポリシー③「身に付けた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、主体的に行動することができる」をどの程度達成していると思われますか？

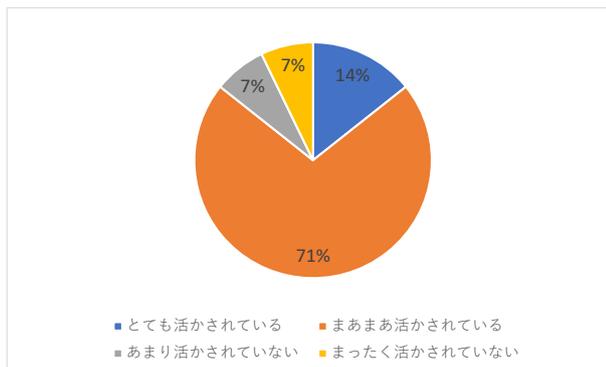
	人数	%
達成している	2	14%
まあまあ達成している	5	36%
あまり達成していない	4	29%
達成していない	1	7%
わからない	2	14%
合計	14	100%



V. 最後に

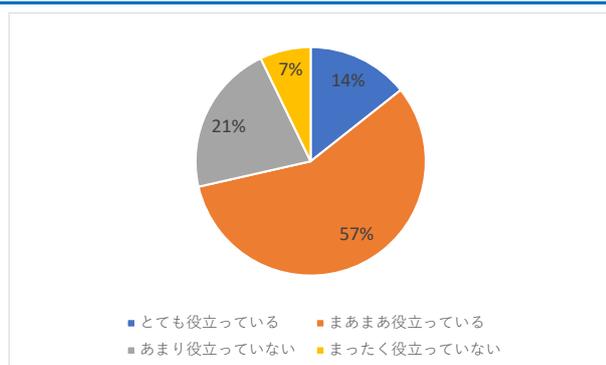
21. 在学中身に付けた学力や資質・能力は卒業後の進路で活かされていますか？

	人数	%
とても活かされている	2	14%
まあまあ活かされている	10	71%
あまり活かされていない	1	7%
まったく活かされていない	1	7%
合計	14	100%



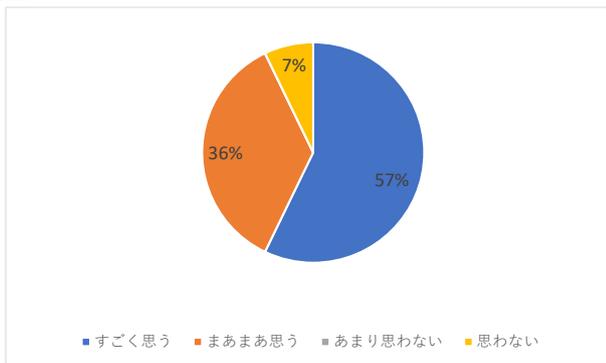
22. 在学中の学びは今の仕事に役立っていますか？

	人数	%
とても役立っている	2	14%
まあまあ役立っている	8	57%
あまり役立っていない	3	21%
まったく役立っていない	1	7%
合計	14	100%



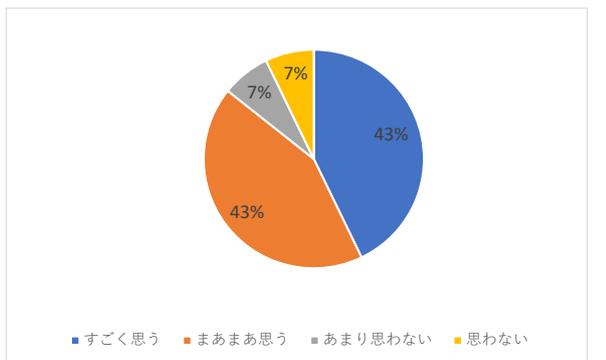
23. あなたは卒業した学部学科に入学してよかったと思いますか？（全員）

	人数	%
すごく思う	8	57%
まあまあ思う	5	36%
あまり思わない	0	0%
思わない	1	7%
合計	14	100%



24. あなたは松本大学を誇りに思えますか？（全員）

	人数	%
すごく思う	6	43%
まあまあ思う	6	43%
あまり思わない	1	7%
思わない	1	7%
合計	14	100%



【松商短期大学部】2022年度卒業生アンケート（就業2年目）について

1. 本アンケートの趣旨・目的

本学は、「地域社会に貢献できる人材を育成」という使命・目的を掲げ、それを踏まえて学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー、以下「DP」という。）を以下のとおり定め、卒業を認めるに足ると判断する際の能力や資質を明示している。

【松本大学松商短期大学部ディプロマ・ポリシー】

松商短期大学部では、修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得するとともに、地域社会において、職業人として活躍し、市民の一員として豊かな生活を送るために、以下の力を身に付けた学生に対して卒業を認定する。

- ①基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての**知識**や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる。
- ②身に付けた知識や技術を活用し、立場の違う人とも**コミュニケーション**を図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる。
- ③身に付けた知識や技術を、実社会の職業や生活と結び付けることで興味や関心を持ち続け、**主体的**に行動することができる。

この3つのDPの達成・到達状況について分析し、その結果を、教育改善や教育改革、学生支援などに活用することを目的として、本学の卒業生を対象にアンケートを実施した。

2. 本アンケートの概要

本アンケートは、2021年3月卒業生（2020年度卒業生）を対象に実施し、現在の就労状況や社会で必要とされていると感じる能力・態度等、本学のDPの達成状況等を尋ねたものである。17人の卒業生から回答があり、回収率は、9.3%であった。

回答いただいた卒業生の居住地は、100%長野県内であった。回答者の85%が卒業時に就職した企業で勤務を継続中であり、14%が転職・退職している。

3. 本学卒業生の資質等について

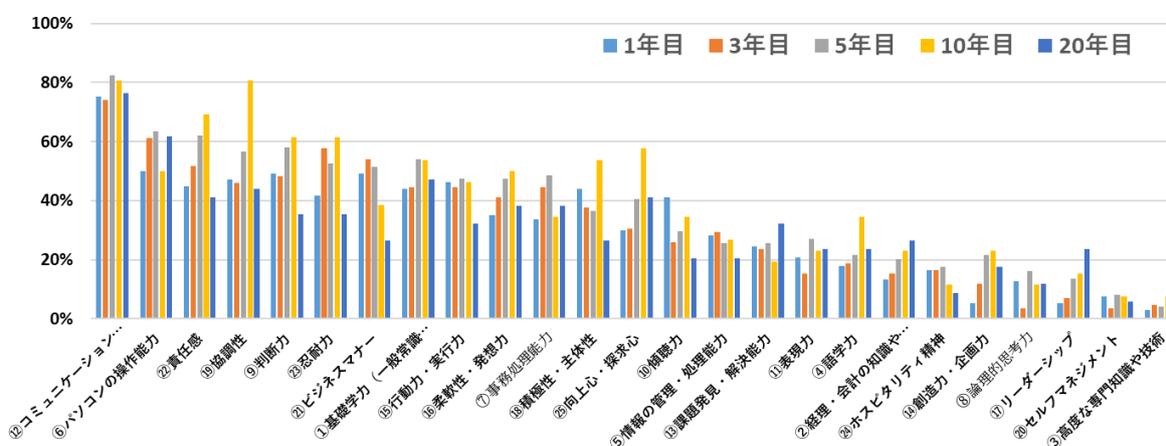
まず、本アンケートは回答率が低いことから、一参考意見にとらえて活用することを念頭に設問を確認した。「Q.11 社会（職場）で必要とされていると感じる能力・態度（複数回答可）」を尋ねた設問では、回答した卒業生全員が「コミュニケーション能力」（100%）を選択している。つづいて、「持続性・継続力」（79%）、「マナーや礼儀」（79%）、「一般的な教養」（71%）、「向上心・前向きさ」（71%）等が多く選択された。また、「Q14.卒業後の状況を踏まえて、本学教育で特に力を注ぐとよいと思う教育分野（複数回答）」を尋ねた設問で

は、「一般的な教養」(79%)を選択する卒業生が圧倒的に多かった。

これは、2016年～2019年の間取り組んだ大学教育再生加速プログラム（AP）事業¹の一環として、本学が実施した卒業後1年目、3年目、10年目、20年目の卒業生に対するアンケート（以下、AP卒業生アンケートという）で得られた回答とほぼ一致した内容である。AP卒業生アンケートの「社会に出て必要だと感じた能力」を問う質問でも、「コミュニケーション力」が最も多く選択されていた。この結果を就業年別に分けて示したものが、次のグラフである。「コミュニケーション力」は、全ての就業年数において70%以上の卒業生に選択されていた。

グラフ: AP卒業生アンケート「社会に出て必要だと感じた能力」(回答数 353名)

就業年数別 (1年目:134名、3年目:85名、5年目:74名、10年目:26名、20年目:34名)



また、「パソコン操作能力」は全ての就業年数で50%以上となっており、「責任感」や「協調性」、「基礎学力」は全ての就業年数で40%以上となっていた。一方で、「セルフマネジメント」及び「高度な専門知識や技術」は全ての就業年数で10%以下であった。

AP卒業生アンケートと本アンケートの設問や構成が異なる部分があることから、単純には比較できないものの、多くの卒業生が「コミュニケーション能力」及び「一般的な教養」や「基礎学力」といった基礎的な能力・態度の必要性を社会で感じているという点で共通する結果となった。

4. 本学の使命・目的とDPについて

卒業生自身の状況から、本学の使命・目的やDPの達成状況について尋ねたところ、「達成している」と「まあまあ達成している」を合わせた割合は、それぞれ以下のとおり

¹2016年度に本学が採択された大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」の中で、当時卒業後1年目、3年目、10年目、20年目の卒業生及びその就職先企業に対して、アンケート調査を実施した。

である。

- ・使命・目的「地域社会に貢献できる人材を育成」…71%
- ・DP①「基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる」…71%
- ・DP②「身につけた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる」…71%
- ・DP③「身につけた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、主体的に行動することができる」…50%

本学の使命・目的や DP①、②の達成状況について、おおむね7割の卒業生が達成できていると評価しており、また、「Q21. 在学中身につけた学力や資質・能力は卒業後の進路で活かされていますか？」という質問に対して「すごく思う」「まあまあ思う」とする回答が85%に上ったことから、卒業生の本学での学びへの満足度は高いと評価できるだろう。ただし、DP③「主体的に行動」は、達成していると回答した学生が半数であり、課題がありそうである。

5.今後の課題

本アンケートは回収率が低かったため、これのみで分析、検証を行うには適さない内容となってしまったが、回答いただいた2020年度卒業生が社会で必要性を感じている能力・態度は、AP卒業生アンケートの結果と大きく相違はないものであることが確認できた。

本学は、AP卒業生アンケートと同時に実施したAP企業アンケートの結果を踏まえて、2021年度入学生から、現在の「地域社会において職業人として活躍し、市民の一員として豊かな生活を送る」ための能力に焦点をあてたDPに変更している。今回のアンケート対象とした学生は2020年度卒業生であり、新DP適用前の学生であるため、今後、継続的に卒業生アンケートを行い、新DP適用前後の学年変化についても検証を行いたい。また、より有益な検証・分析を行うためには、何よりも次年度以降の卒業生アンケートの回答率を高めることが課題である。

「2022 年度 松本大学 卒業生アンケート（2 年目）調査結果」

2022 年（令和 4 年）12 月 20 日 発行

編集・発行：松本大学 内部質保証室

*無断転載を禁じます。